

なかつ市議会だより

令和8年
9月議会



大分県立中津南高等学校耶馬溪校



地域美化活動



ホタル授業



歓迎遠足



だいだいクラブ



体育大会



成果発表会



地域探究活動



耶馬溪自然環境探究



地域産業基礎



紅葉祭

学校ホームページ、Instagramはこちら→



表紙作成：大分県立中津南高等学校耶馬溪校

大分県立中津南高等学校耶馬溪校と意見交換会を行いました！

広報広聴委員会は、令和8年9月25日(金)に中津南高等学校耶馬溪校の皆さんと意見交換会を行いました。

意見交換会では、通学バスや校則といった学校生活の身近な話題から、市内のお店・施設や将来のまちづくりについて貴重な意見を伺うことができました。



「なかつ市議会だより」は
中津市ホームページにも
掲載しています。

<https://www.city-nakatsu.jp>

なかつ市議会だより

検索



Instagram



Facebook

発行／大分県中津市議会

発行年月日／令和8(2026)年11月1日

代 表 質 問

- ◆毎年9月議会において、会派の代表者が具体的政策を、主に市長及び教育長に対し質問するもので、今回が18年目になります。
- ◆QRコードをスマートフォン等で読み込みいただくと、インターネット中継の議員ページにアクセスします。



前進

代表質問者

つね が しん た ろう
恒賀 慎太郎



◎防災・減災対策について

問 去る7月28日夕刻、熊本地方を震源とする最大震度7の大地震が発生し

ました。中津市でも震度4を観測し、改めて自然災害のこわさを認識したところです。そこで緊急時に対応する為、自主防災組織と防災士協議会との連携についてどのように認識されていますか。

答 地域防災には、両者の連携が不可欠であることから、市では、防災士の資格取得時の自治委員推薦や名簿共有を進めており、数校区において年複数回の訓練実施といった成果が出ております。一方で、連携についての課題もありますので、職員が地域へ直接出向き、座談会などを通じて「顔の見える関係」と「活動の土台づくり」を順次進めてまいります。

問 豪雨が増加していますが排水施設設備の推進についてお伺いします。

答 平成30年に策定した「中津市雨水対策基本計画」に基づき、安全、安心確保の為、着実かつ迅速に排水施設の整備を推し進めています。現在、雨水幹線整備として上宮永雨水幹線の整備や角木雨水ポンプ場等の整備を進めております。



令和8年7月6日 大雨による中央町の冠水状況

◎産業振興と中津流DXについて

問 中津市では中津流DXと称して中津市DX推進プロジェクトを立ち上げ、職員自らがDXを活用した業務の効率化、市民へのサービス向上に取り組んでいますが、この中津流DXアワードの経緯と内容、そして成果をお伺いします。

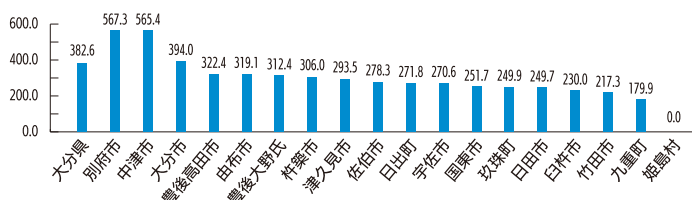
答 本市はDXの取り組みを一過性のものにせず、持続可能なものとするため、令和3年度をデジタル元年と位置づけ、一貫してDX人材の育成に力を入れてきましたが、「Nakatsu DX Award」もそうした人材育成プログラムの

一つです。成果につきましては、5年間で100件を超えるエントリーがあり、あらゆる分野においてアプリ開発や業務改善の取組みが次々と生まれております。これらの取組みは、開発コストの抑制とタイムリーな市民サービス向上を両立させており、これまで開発された様々なアプリやサービスは、市民の利便性向上や業務効率化に寄与しております。

◎市民の安心、安全確保について

問 市民が中津市に住み続けたいと思えるまちづくりは、市民の代表として議会に携わる我々にとって大事な活動の一つであります。大分県内の令和7年度特殊詐欺の現状を見ますと、被害額が中津市においては1億4831万7171円となっており県内2番目の状況となっており、危機的な水準にあると感じています。そこで、中津市における犯罪防止活動の現状についてお伺いします。

答 市民が、安心して暮らせるための防犯対策、特殊詐欺等被害防止対策の強化は、本市における重要な施策であります。具体的な取組みですが、メディアやSNS等を活用した広報啓発、警察や自主防犯パトロール隊の関係機関、団体と連携した活動を行っています。また特殊詐欺については、防犯講話、特殊詐欺等防止機能付き電話機の購入補助等に取り組んできました。今年度は、新たに中津駅周辺に防犯カメラ10台を設置するとともに、県内市町村で初となる全世帯を対象とした家庭用防犯カメラ整備補助金を創設したところです。



大分県内市町村別犯罪率

◎観光政策について

問 地域と一体となった観光まちづくりで大切なことは。また若い世代の力を活かした全国への「な活魅力発信」をどのように考え実施されるのか具体的に伺います。

答 市ではこれまで、不滅の福澤プロジェクトや日本遺産の推進など、官民一体となった観光振興の取組みにより、市民の皆さまの郷土への愛着、いわゆるシビックプライドを深めてまいりました。地域と一体となった観光まちづくりにおいて大切なことは、こうした愛着の醸成に加え、客観的なデータに基づき地域事業者と協働していくことであると考えております。

次に若い世代の力を生かした「な活魅力発信」についてです。

外部の力を生かした取組みとして、今年度よりSNS（Instagram）での発信に特化した「中津市観光パートナー制度」を開始いたしました。若い世代の力を生かした取組みとして、中津東高等学校マーケティング部と連携しノベルティグッズを開発するなど、実践的な学びを通じて地域の魅力発信に取り組んでいます。



市民の会

代表質問者

おお つか まさ とし
大塚 正俊



◎災害に強い安全なまちづくり

問 一次避難所となる公民館やコミュニティセンター、学校、体育館等に

おいては、停電時にも避難者を受入れできる施設整備が必要ですが、常設の自家発電機が設置されている公民館等の数と自家発電機のない避難所の数、停電時の対処方法、今後の整備計画について伺います。また、避難者が情報収集するためには、テレビやWi-Fi環境の整備が必要ですが、その整備状況について伺います。現在、災害時協力井戸として一般分80件、公共施設分27件が登録されていますが、停電時には使用できません。そこで、停電時の対応について伺います。

答 指定緊急避難場所（全42施設）の設備等について、テレビやWi-Fiは全施設で使用可能な環境を整えています。また、非常用発電設備は3施設に整備しており、未整備の施設についても、備蓄拠点からの輸送や協定に基づく移動電源車や大型発電機の調達による電力確保の体制を整えています。次に、停電と断水が同時に発生した際の災害時協力井戸の電力確保については、市及び各地域の自主防災組織が保有する発電機を、現場の状況に応じて機動的に配備していきます。また、熊本地震における教訓や検証結果を踏まえ水質の安全や衛生面を維持するため、発電機を含め必要な機材の確保についても、改めて検討を進めていきます。



◎企業立地促進と中小企業の事業継続・人材確保の支援

問 中津市では、自動車関連産業や半導体関連の進出需要が高まる一方で、立地に適したまとまった規模の産業用地・工業団地の不足が深刻化しています。その解消にむけて三光臼木・諫山地区産業用地開発事業に取り組んでいますが、民間事業者の応募の状況や現在の工事等の進捗状況、今後の計画について伺います。

また、20代～30代の女性の流出が止まりません。今後、女性の働く場を確保することが急務であり、どのような業種の企業誘致を進めていくのか伺います。

答 三光臼木・諫山地区の産業用地開発は、県、市、そして民間開発事業者の三者が連携して取り組む、新たな挑戦です。民間開発事業者については、現在1社から提案を受け、県と慎重に審査を行っている段階です。今後の計画は、この審査が順調に整い次第、三者による基本協定を締結し、事業が本格的にスタートします。その後、地元の皆様への説明会を開催し、ご理解をいただきながら、用地買収などの具体的なステップを着実に進めていきます。次に、女性の働く場について、若い世代、特に20代から30代の女性の市外への流出に歯止めをかけることは、本市の持続可能な発展において極めて重要な課題です。現在、女性の就労希望が多いとされる食料品製造業や半導体関連産業、さらには多様なオフィスワークを生み出す情報通信産業やビジネス支援サービス産業などへ積極的なセールスを展開しています。

◎「命」を守り「暮らし」を支える交通網の整備

問 市内の交通渋滞の解消のためには、南北を貫く(都)大新田相原線の市民病院から南側路線の早期工事着手や北側区間の市民病院線の早期完成、市街地を通過せずに福岡県側に車を流す県道中津高田線の吉富町までの延伸が急務と考えますが如何ですか。

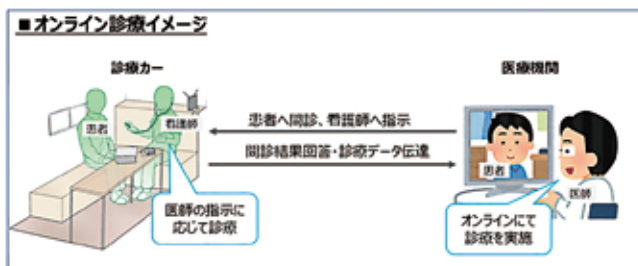
答 大新田相原線の市民病院から南側区間の着手については、現在進めております北側区間の市道下池永西大新田線の整備状況を見ながら、適切に計画していく方針です。次に、県道中津高田線の吉富町までの延伸については、事業主体である大分・福岡両県の動向を注視しつつ、関係機関と緊密に連携を図り、早期整備の実現に向けて働きかけていきます。



◎地域医療・救急医療体制の確保

問 旧下毛地域では、医師不足による「診療機能の縮小」と、高齢化による「医療需要の急増」が深刻に交錯しています。公共交通の脆弱化や高齢化も相まって物理的な通院が困難となるケースが多く、移動手段の確保やオンライン診療などのデジタル活用が喫緊の課題です。そこで、国保診療所の医師確保による存続と看護師が医療機器を搭載した「診療カー」で患者のもとへ向かい、遠隔地の医師と高精細に繋ぐオンライン診療モデル（仙台方式D to P with N型）の導入を検討すべきと考えますが如何ですか。

答 市では、国保診療所の再編に向けた検討を進める中で、中心となる拠点診療所の整備、オンライン診療車（診療カー）の導入による往診や無医地区での拠点診療など、民間診療所も含めた旧下毛地域全体での医療体制の見直しを市民病院とも協議を進めています。今後も医師・看護師の確保に努め、旧下毛地域の皆さまに安心して医療を受けていただけるよう、ICTを活用した仕組みづくりを進め、民間診療所を含めた地域全体で持続可能な医療提供体制の整備に努めていきます。



仙台市役所公式サイトより

語句の説明

*DtpwithN型とは、情報通信機器を用いて医師(Doctor)对患者(Patient)に加え、看護師(Nurse)が患者側で補助を行う診療のこと。



日本共産党

代表質問者

川内 八千代



◎物価高騰対策、給付金実施について

問 度重なるプレミアム商品券発行では低所得者、年金生活者は購入できていません。市民アンケートによせられる声は市民全員に平等に給付金を求める声が多くありました。給付金の実施を求めます。

答 市では水道基本料金の免除や給食費無償化を実施し、一律給付は行わないものの、国、県の施策とも連携を図り、必要な支援を検討します。さらに市民の負担軽減のため10月からプレミアム率40%の第9弾プレミアム商品券を発行し、一口金額を5千円への変更などで購入しやすくしています。



アンケートに寄せられた声

市長・中津市政への要望、意見を

中津市以外に「国に現金や商品券etcと配布しているのに中津市は1万円を出して、3千円アラスして金券を渡す、1万円が1万円は3千円も貰えない不公平だと思いました。」

◎ナフサ不足等による中小・小規模事業者への影響について

問 中小企業振興条例によるアンケートを実施したがその結果と有効な対策を求めます。

答 緊急アンケート調査では約8割の業種で影響があり、引き続き国、県の動向を注視しつつ、経済団体と連携し、事業者の声の把握に努めます。

問 市のアンケートでも8割の幅広い業種で影響が出ているなら、スピード感もった具体的な施策が必要ではないかと考えますが、如何ですか。

答 プレミアム商品券発行や水産業・農家支援を行い、今後も経済団体と情報共有します。

◎学校給食は公共の責任で

問 給食費無償化は市民は大変喜んでいて、来年度以降も続けることを求めます。

答 国交付金や市の財政を踏まえ、年度ごとに判断します。

問 国は「小学校はR9年度の財源措置について責任を持って措置する」としており、R9年度は小中学校無償化を措置すべきではないですか。

答 国交付金や市の財政を踏まえ、年度ごとに判断します。

問 新共同調理場企画、建設、運営一式をPFI方式にして15年間で2億7千万円安上がりになるとしていますが会計検査院が公共事業を検査、結果PFI方式の方が費用が高くなり、異物混入や欠品など債務不履行も多かったとしています。給食は公共(市)が責任をもって子どもたちへ提供すべきではないですか。

答 民間ノウハウによる安全で質の高い給食の安定供給、適切な施設維持、財政負担の平準化を目的としてPFI事業を実施しています。

問 食器は25年間使われている安全な強化磁器にすべきです。プラスチックは全世界で減らそうとの運動が起きています。

答 PEN樹脂製食器は多くの学校等で使用実績があり、安全性が高いです。

◎中津南高耶馬溪校の生徒寮の建設について

問 地域みらい留学に直接取り組んでいる一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォームと中津南高耶馬溪校と大分県、中津市の協力関係の契約年月日と寮建設の契約内容についてお尋ねします。

答 耶馬溪校、中津市、プラットフォームを運営する一般財団法人の3者で参画契約をR7年6月27日に、R8年4月1日に締結しています。

問 みらい留学のHPには寮増設予定と表示があるが、県教委とどんな協議があって中津市が4億円以上予算を投じて寮建設をすることになったのですか。

答 全国から生徒を迎えるには住環境整備運営を市が担うことになりました。

問 耶馬溪校存続を望むが、在校生55名への教育の充実や通学バス代5.5万円/年の負担軽減し地元からの生徒が増えるような支援策を優先すべきではないですか。

答 通学支援補助金を交付、保護者負担上限額を8万円から5万5千円に引き下げています。

問 県教委は「定員割れが2年続いたら閉校」との方針と聞くと、耶馬溪校へは適用されているのですか。

答 県教委は直ちに募集停止を行う運用はしておらず、大分県高等学校未来創生ビジョンの中で「すべての学校の魅力向上を目指す」と示しています。

◎小中学校体育館のエアコン設置は

問 2024年の代表質問で、授業のためや避難所としての環境改善からもエアコン設置を求めてきました。未設置の旧下毛の小学校体育館への早急な設置を求めます。特に下郷小学校体育館は雨漏りがひどく、床はブルーシートが張り巡らされ、その上にバケツが30～40個、雨漏りを受けるため並べられていました。旧下毛の小学校統廃合を見据えてエアコン設置しないとか本格的な修繕をしないということではいけません。子どもの学習と避難所としても安心して使えるようにすべきではないですか。

答 小中学校の屋内運動場の空調設備はR7.8年度で中学校10校と小学校11校の整備を進めています。未整備の旧下毛の小学校9校についても、国の予算状況等を踏まえ、財政当局と協議しながら優先的かつ計画的に整備を進めます。下郷小学校体育館の雨漏りは、修繕工事を完了しています。



下郷小学校2026年7月当時

問 旧下毛地域の学校体育館エアコン設置が進んでいません。市内の学校体育施設は公平に整備を進めてもらいたいです。

答 国の交付金採択状況を踏まえ、財政当局と協議の上、計画的に整備を進めていきたいと考えます。

9月議会 一般質問

- ◆令和8年9月議会において、市政全般に対する一般質問が行われました。その中から主な質問を紹介しします。(質問順)
- ◆質問のタイトルの中で、色を変えた項目(オレンジ色)についてのみ、質問と答弁の内容を掲載しています。
- ◆QRコードをスマートフォン等で読み込みいただくと、インターネット中継の議員ページにアクセスします。



木佐 佳子
(市民の会)



- 安心して学び働くことができる学校づくり
- 安心して働ける環境づくり
- 安心して暮らせる地域づくり～多文化共生の推進

問 多くの課題をかかえる学校の現状の中、「チーム担任制」を導入することへの考えは。

答 「チーム担任制」は教員個々の負担軽減や生徒指導、学習支援について、複眼的かつ柔軟な対応が可能になるというメリットがあると認識しています。今年度より中学校1校でチーム担任制を導入しました。今後、小学校においても教科担任制を進めつつ、「チーム担任制」の実証校も検討するなど歩みを進めていきたいと考えています。

問 4月の「中津市カスタマーハラスメント防止条例」施行後の市としての現在の取組みは。

答 条例制定に先駆け令和7年2月に対応マニュアルを策定し、全職員向けに周知しました。また、ハラスメントと思われる事案が発生した場合には総務課が相談窓口になり、案件によっては「対策委員会」を開くこととしています。また、事業者が顧客等から受けたカスハラ対策のために専門機関へ相談した場合、補助金の助成を行っています。



千木 孝之
(市民の会)



- 防災について
- ・ 家具の固定グッズの補助金
- 利用しやすい公民館について
- 元気づくりについて
- ごみの削減状況について

問 家具の固定グッズについて、防災の研修会等で説明されています。防災用品の購入の際補助金を出しては。例えば購入金額の1/2を補助するなど、防災用品を各家庭で備蓄するという意識付けのためにも、検討しては。

答 市民の皆様の「直接死」を防ぐ極めて重要な対策です。補助のあり方については、ご提案の趣旨も踏まえ、効果的な支援のあり方なども含め、必要な見直しを考えているところです。

問 田尻ソフトボールグラウンドは、何年も前からネットを超える問題があり、ネットの高上げの要望をしています。改修計画はいつ頃なのか。

答 防球ネットの高上げや設置範囲の見直し、安全対策としてどのような手法が最も効果的・適正であるか、予算や緊急性を勘案し対策を進め、優先順位をつけ次年度以降の事業化や修繕計画への反映に向けて協議を進めてまいります。



相良 卓紀
(清流会)



- 令和8年熊本地震を踏まえた中津市の防災対策について
- 防災拠点としての消防本署・耶馬溪分署の建て替えについて

問 令和8年熊本地震において、緊急消防援助隊や医療関係者、市職員など多くの方が現地での支援活動に携わりました。その経験を踏まえ、現在の中津市の地域防災計画や災害対応マニュアル等を検証し、必要な見直しを行う考えがあるか。

答 被災地で活動し直接現場で対応した職員の「生の経験や気づき」は、本市の今後の災害対応力を高める上で極めて貴重な財産であると認識しています。これら貴重な現場の知見を全庁で情報共有するため、活動報告や意見交換の場を設け、課題を検証した上で今後の防災施策に反映します。

問 市民の生命と財産を守る防災拠点として、消防本署、耶馬溪分署の建て替えの考えとその時期は。

答 消防署は災害発生時に市民の生命と財産を守る「最後の砦」であり、その機能維持は重要課題の一つです。築半世紀を経過し、今後益々高度化する消防ニーズへ対応するため、抜本的な整備を速やかに検討すべきと認識しています。



奥村 一義
(前 進)



- 山国町コンパクトシティ構想
- 多文化共生推進

問 夕張市が財政破綻から都市機能集約という手段で再生したことを参考に、山国町もコンパクトシティ化を目指すべきではないか。

答 都市機能はコア山国付近に集約されており、拠点まではデマンドバス運行等やこれまでの取組みによりコンパクトシティ化は進んでいる。

問 拠点内で解決できない通院や買い物などの支援のために路線バス代の支援ができないか。

答 他地域との公平性、財源などを総合的に勘案する必要がある。

問 仮に山国町に1億円の予算が与えられたとしたらどのような使い方をしたいか。

答 中津市全体の未来を支える「次世代人材育成および後継者の育成」に重点的に投資したい。

問 政策連携・多文化共生係の取組みは。

答 ①コミュニケーション支援②生活支援③意識啓発・社会参画④地域活性化・グローバル化の4つの柱に沿って各種取組みを進めています。



きのした もとのぶ
木ノ下 素信
(清流会)



- 学校給食における地産地消と食育の推進について
- ケアラー支援について

問 地場産物の活用を広げるため、今後の直接的な取組みは。

答 できる限り季節の野菜などが使用できるように献立を作成し、発注を行っています。また、生産農家と直接契約をして納品していただくなど、中津市産の活用を進めています。

問 ケアラーが適切な支援につながる窓口及び連携体制とは。

答 福祉政策課に「福祉の困りごと相談窓口」を、中津市社会福祉協議会に「暮らしの総合相談窓口」を設置しています。相談があったり困りごとに気づいた場合、一旦受け止め、当該分野につなぎ、連携して支援にあたる体制づくりを進めます。

民間や地域においてケアラーが気楽に集う居場所づくりに対する取組みは。

活動支援や情報発信、相談や支援における連携の枠組みづくり等幅広い観点から、連携・協力を推進します。



おずみ としこ
小住 利子
(公明党)



- 法改正に伴う身寄りのない高齢者支援について
- 手話リンクについて
- ヘルスリテラシー向上の取組みについて

問 今後の体制整備（社会福祉協議会、民間事業者との連携）について伺います。

答 「身寄りのない高齢者」に係る今般の社会福祉法の改正内容は、「福祉サービス利用援助事業」の対象者及び事業内容を拡大するものとなっています。現状の福祉人材確保の課題も踏まえ、行政・社協だけでなく、民間事業者等との分野を超えた連携・協力体制を目指し、現在策定中の第5次地域福祉計画等にも反映させ、包括的な支援体制の整備を進めていきます。

問 ヘルスリテラシー教育推進に対する見解を伺います。

答 現在学校では、保健体育の授業や専門家による出前授業を活用し、児童生徒が健康管理や薬物防止教室等の出前講座を活用し、正しい知識を身に付ける取組みを進めています。今後も各校のニーズに応じた適切な情報提供や関係機関との連携支援体制を整え、各小中学校におけるヘルスリテラシー教育の推進を後押ししていきます。



ふちの まき
刈野 真己
(前 進)



- 今後の学校プールの在り方
- 人口減少時代における中津市のまちづくり

問 安全で持続可能な水泳教育の実現が重要です。老朽化したプールの更新にあたり、民間施設の活用も選択肢とし、費用や教育効果、安全性、教員負担などを比較・検証していくべきと考えます。

答 民間施設・指導者の活用は、天候に左右されず、安全性や専門性の向上などのメリットが期待されます。一方、移動時間や費用、学校規模などの課題も踏まえ、他自治体の事例や検証事業を行いつつ、今後の水泳授業のあり方を検討します。

問 行政だけでなく、市民や企業など民間の力を活かしたまちづくりが重要です。行政と民間が連携し、継続的にまちづくりを担う仕組みや、都市再生推進法人について調査・研究を進めるべきと考えます。

答 多様な主体が将来のまちづくりを考え、意見やアイデアを発信することが重要です。今後も、市民・地域団体との活動機会を創出し、都市再生推進法人についても調査・研究を進めます。



みかみ ひでのり
三上 英範
(日本共産党)



- 水路の災害復旧は負担なしに
- 山国町の下水道の延伸を
- 耶馬溪校の寮建設について
- スマートシュリンク
- 決算における不用額の発生

問 先の国への会派要望・レク活動で農水省から市の分担金徴収条例の減免条項を市長が発動すれば農家の負担なしの復旧工事が可能とのアドバイスを頂きました。減免条項発動の市長の意志は。

答 市ではこれまでも農家の負担軽減に取り組んでまいりました。しかし、農業用施設については、復旧事業費の全額を公費で支出することは適当でないと考えています。今後も関係者の理解を頂きながら災害復旧事業に取り組んでまいります。

問 会派の実施したアンケートに、山国町の下水道延伸の要望が寄せられました。人口減少なので施設の拡大はしない、の一边倒ではなく、こうした要望に丁寧に応えることが重要では。

答 住民のお気持ちは重く受け止めつつも、莫大な建設維持費による将来の負担増を避けるため下水道延伸は困難です。費用や速さに優れる「合併処理浄化槽」の補助制度周知や相談対応を通じ、生活環境改善に向け真摯にご理解を求めています。



み え の た ま え
三重野 玉江
(清流会)



- 中津市の里親制度の推進
 - ・ 課題とされるもの、課題に対する取組みは
 - ・ 里親を支える制度の充実について

問 県全体の委託率は高い水準にあります。里親登録家庭の確保や子どもと里親家庭のマッチング等は自治体ごとに差があります。現在どのような事を課題と認識していますか、また課題に対してどのような取組みを行っていますか。

答 課題は里親登録数の継続的確保です。養育里親の約6割が50歳以上であり、今後、現役里親の高齢化や登録更新時の辞退者増加が見込まれます。里親制度に関心を持つ幅広い世代の中でも若い世代の周知啓発に重点を置き、新規里親登録者の発掘に努めます。

問 里親の不安や孤立による養育断念を防ぐためにも受託前後の伴奏型支援や生活環境を含めた支援体制をどう拡充しますか。

答 里親カフェでは、里親同士の交流や先輩里親の話を聞く機会を設けています。市の担当職員も積極的に参加していますので、里親や関係機関と顔の見える関係を築き、支援に繋がります。



まつ ば た み お
松葉 民雄
(公明党)



- 森林J-クレジットについて
- 相続放棄土地管理について
- 過疎地森林の共有地について
- 中津市における障害福祉サービスの提供体制について

問 J-クレジットの創出量や収益活用状況等を市民に公表していく考えがありますか。

答 毎年度創出されたクレジット量や販売実績、売却益の活用方法などの事業成果につきましても山国川流域森林組合と連携して、市のホームページや市報等を活用し、市民の皆様に分かりやすくご報告できる仕組みを考えてまいります。

問 森林環境譲与税の活用と流域治水・水源涵養の管理について伺います。

答 共有林の境界明確化等に向けた支援につきましては現在新たにリモートセンシングデータを活用した地籍調査に対してこの森林環境譲与税を充当できるよう調整を行っているところです。今後は権利整理や境界の明確化が進んだ森林において、森林経営管理制度を活用した管理を進めるとともに、再造林事業を通じた植林、下刈り、枝打ち、間伐を推進し、山国川流域の治水や水源涵養機能の維持向上につなげていきたいと考えています。



や ま か げ と も か ず
山影 智一
(豊の風)



- 中山間地域の振興とコミュニティ
- 介護現場のカスハラ対策
- 地域未来戦略と日本成長戦略
- 自主財源を確保する基金運用

問 合併から20年が経過し、中山間地域の暮らしや生業の維持が困難になっています。

住民福祉や地域特性に合った組織運営が求められる中、農村型地域運営組織（農村RMO）と地域福祉ネットワークの関係性や、今後の推進に向けた市のリーダーシップによるデザイン構築について見解を伺います。

答 農村RMOは、農業者と多様な地域関係者が連携し、地域資源を活用しながら生活支援等を包括的に実施する組織です。

地域福祉ネットワークとは、直接的な制度上の関係性はありませんが、住民・事業者・行政が一体となって地域生活を維持するという視点は共通しています。

市としても関係各課が連携し、先進事例の研究や地域のサポートに努めてまいります。



ほ ん だ て つ や
本田 哲也
(清流会)



- やまくに源流区域の活性化
- 地域行政（自治会）のあり方
- 中津干潟と「ひがた美人」の未来
- 多文化共生の推進

問 猿飛千壱峡へ川遊びで訪れる外国人を含む若者たちの現状と課題、地域活性化に向けた対応策は。

答 今夏は例年に比べ2～3倍の方が訪れ、駐車場の不足、無断駐車、ゴミの散乱などが発生しています。このため多国籍言語での看板設置や駐車場の増設も検討します。「さるとび茶屋」の営業日拡大については地域おこしグループに活用いただけるよう働きかけたいと思います。

問 自治会への加入世帯1桁の地区数、及び防災面等で必要と思われる再編成の考えは。

答 旧中津地域に1地区、耶馬溪地域に16地区、山国地域に25地区あります。自治会活動の維持や運営適正化のため適正な自治会数の実現に努めます。

問 「中津干潟」の自然共生サイト/ラムサール条約湿地の登録により得られる効果及び登録への進捗は。

答 「ひがた美人」をはじめ市の水産物の評価・取引単価の向上や販路拡大が期待されます。まずは中津干潟全域の自然共生サイト登録を優先し、関係各所と合意形成を図り、段階的かつ着実に取り組んでまいります。



あら き ひろこ
荒木 ひろ子
(日本共産党)



- 教育環境の整備
- 中津南高耶馬溪校の存続
- 道路環境の整備
- 高齢者が安心して住めるまち
- 安心して子育てができるまち

問 下毛の小学校の体育館のエアコン設置は、後まわしにしないで、令和9年度予算で設置完了を。

答 旧下毛地域の小学校についても、国の予算状況等を踏まえ、財政当局と協議しながら優先的かつ計画的に整備を進めます。

問 耶馬溪校の存続は地元に限らず、市民の願いです。大分県教育委員会と中津市の将来にむけた存続合意の内容は、どうなっていますか。

答 耶馬溪校の廃校は、地域の過疎化やコミュニティ維持に大きく影響するため、県へ高校存続と魅力向上のため幾度も働きかけてきました。今後も耶馬溪校存続に向け協議を重ねてまいります。

問 高齢者が一人暮らしが出来なくなっても、住み慣れた地で暮らし続けるための、国民年金で利用出来る特別養護老人ホームの待機人数と解決策は。

答 令和8年4月1日現在の待機者は106人です。地域の介護ニーズや事業者の意向調査等を考慮し、計画策定員会の中で議論、検討していきます。

令和7年度 決算審査



10月2日 総務企画環境委員会



10月5日 産業建設消防委員会



10月6,7日 教育厚生委員会

総務企画環境委員会、産業建設消防委員会、教育厚生委員会を開催し、令和7年度中に執行した事業等の決算審査を行いました。

自由討議

◆任意のテーマについて議員間で意見を交わし、合意形成や政策提言につなげる仕組みです。

◆市長への質問ではなく、議員同士が特定のテーマについて意見を交わします。



◆持続可能な自治会運営に向けたDXの活用と行政支援について

- ①自治会業務の現状と負担の実態把握について
- ②自治会DX（デジタル化）の導入可能性と課題について
- ③担い手不足・若年層参加促進に向けた仕組みづくりについて
- ④行政支援のあり方と段階的導入の方向性について



補足説明者：木ノ下素信議員

◆空き地等の適正管理に向けて

- ①農地、空き地等に繁茂した雑草等除却の現状と課題
- ②行政指導に応じない悪質なケースへの対応策は
- ③市道、農道、里道、水路敷、公園等の公共空間の雑草除却の現状と課題
- ④少子高齢化による道路等の地元管理の限界
- ⑤公共空間の所有者である市の責務は



補足説明者：大塚正俊議員

9月議会で決まった内容

令和8年9月議会は、8月31日から9月30日までの31日間にわたり開催されました。審議の結果、予算関係議案4件、条例関係議案8件、その他の議案4件、合計16件を可決、人事案件1件を同意しました。また意見書2件を否決しました。（詳細はホームページをご覧ください。）なお、決算議案9件、請願1件は閉会中の継続審査としました。

補正予算

- ◆令和8年度中津市一般会計補正予算（第2号）
- ◆令和8年度中津市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
- ◆令和8年度中津市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
- ◆令和8年度中津市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

報告

- ◆地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率の報告について
- ◆地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率の報告について
- ◆専決処分報告について
 - * 公用車による公務中の交通事故に係る和解及び損害賠償額の決定（2件）
 - * 道路（市道）管理者としての和解及び損害賠償額の決定（2件）
- ◆債権放棄の報告について

条例

- ◆中津市認可地縁団体の印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について
- ◆中津市執行機関の附属機関の設置等に関する条例等の一部改正について
- ◆中津市条例の廃止に関する条例の一部改正について
- ◆中津市景観条例の一部改正について
- ◆中津市立保育所設置条例の一部改正について
- ◆中津市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について
- ◆幼稚園の設置に関する条例の一部改正について
- ◆中津市公民館条例の一部改正について

その他

- ◆行政不服審査会の事務の委託について
- ◆財産の取得について
 - * 高規格救急自動車の取得について議決を求めるもの
- ◆財産の取得について
 - * 消防小型動力ポンプ付軽積載車の取得について議決を求めるもの
- ◆財産の処分について
 - * 旧旧田尻緑地の土地の処分について議決を求めるもの

請願

- ◆学校給食についての請願書
- 以上1件の請願を継続審査としました。

人事

- ◆中津市固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 佐藤 博昭 氏（54歳）（中央町）
※（ ）内の年齢は議案提出時の年齢

意見書

- ◆核兵器禁止条約第1回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書
 - ◆非核三原則の堅持を求める意見書
- 以上2件の意見書は否決しました。

◆賛否の分かれた議案

【議第90号】 令和8年度中津市一般会計補正予算(第2号)

(個人ごとの表決結果を賛成○、反対×、棄権－、欠席は欠で表しています。)

議案番号	議決結果	清流会						前 進					日本共産党			市民の会		公明党		豊の風	再生		
		木ノ下素信	藤野英司	相良卓紀	中西伸之	本田哲也	三重野玉江	大江直樹	角祥臣	恒賀慎太郎	奥村一義	林秀明	淵野真己	荒木ひろ子	川内英範	三上孝之	千木正俊	大塚佳子	木佐貫民雄	松葉利子	小住智一	山影一	相良亜寿香
議第90号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×

※上記以外の議案については、全会一致で「原案可決」、「同意する」となりました。なお、議長は採決に加わらないため斜線としています。

**審査
注目**
委員会審査 注目事業ピックアップ
**委員会
とは？**

市議会には23人の議員がいますが、議会で議論される提案は、市の予算、福祉、教育、道路の整備などテーマが膨大で多岐にわたります。これらをすべて全員（本会議）で議論すると時間がかかるため、少人数のグループに分かれて特定の分野について“より深く・効率的に・専門的に”議論する場として「委員会」が設置されています。

総務企画環境委員会
**議第90号 令和8年度中津市一般会計補正予算（第2号）
（家庭用防犯カメラ設置費補助金）**

Q：6月から受付を開始したが、早期に当初予算額に達して終了したため、追加で受付を行うとのことだが、申請受付の開始時期は？

A：申請受付は11月開始を予定しています。

Q：6月に申請ができず、受付終了以降に自費で設置した世帯についても、遡って補助対象となるのか？

A：6月に申請できなかった方にも遡及適用します。また、設置前の写真がない場合なども設置業者等への確認により新設されたことが確認できれば受け付けるよう柔軟な対応を行います。

Q：個人敷地内に設置した防犯カメラで、ごみステーション等の敷地外を撮影する場合も補助対象になるのか？

A：補助対象につきましては、ご家庭の敷地内を撮影・録画するものに限られ、隣接するごみステーション等の敷地外を撮影する場合は補助対象外となります。


産業建設消防委員会
**議第103号 財産の取得について
（高規格救急自動車）**


Q：購入する救急自動車の配備先や主な特徴は何ですか？

A：初年度登録から8年が経過し走行距離が約17万kmとなった耶馬溪分署の車両を更新するものです。地域の走行安定性を考慮したフルタイム4WDを採用し、患者搬送時の揺れや不快感を軽減する防振ベッドを装備しています。

Q：車両本体以外の医療機器などの装備を合わせた全体の費用はいくらですか？

A：前入札による車両本体価格（落札額：税込2,403万5千円）のほか、医療機器等の資器材費として別途1,563万1千円を要します。

Q：更新によって不要となる従来の救急車はどのように活用・処分されますか？

A：今回更新される車両は、消防本部の「予備車」として配置・運用します。予備車としての役割を終えた後についても、過去に市民病院へ配置した実績などを踏まえ、地域医療への貢献や適切な処分の方法を検討します。

教育厚生委員会

議第90号 令和8年度中津市一般会計補正予算（第2号）（中津南高耶馬溪校寮整備事業）

Q：新寮建設に至った経緯と建設費が4億円超となる積算根拠を説明してください。

A：既存施設は耐震性や広さに課題があり、下宿の協力も得ることが難しい状況でした。また、学校留学相談会で「設備がしっかりした環境に預けたい」という保護者の声が多く寄せられたため、新寮建設が最良と判断しました。建設費については、他県事例を参考に、物価上昇率や建物と一体的な設備・機器整備等も含めて積算しているため割高にはなりますが、決して高いグレードの寮を予定しているわけではありません。今後は国の補助金や交付税算入率の高い地方債を活用し、市の一般財源持ち出しを抑えて進めてまいります。



中津南高耶馬溪校

Q：既存の平田寮の運営委託料約350万円の積算根拠と入寮者増加時の影響額はどうなる見込みですか？

A：平田寮の運営に係る「一般社団法人 だいたい公社」への委託料約350万円は、スタッフの見守り人件費（時給1,100円のシフト制）と生徒1人あたり1日1,200円の朝夕の食事代を積算したものです。今後入寮者が増加した場合でも、増額となるのは主に食費のみとなる見込みです。

Q：新寮運営に係る収支見込みと市の負担額や県からの財政支援についてはどうなっていますか？

A：満員の18名となった場合のランニングコストは約1,500万円と見込まれており、寮費収入864万円（生徒1人あたり年間48万円）との差額を市が負担することになります。県立学校の寮であるため、ランニングコストに対する財政支援を県に働きかけるほか、過疎債などの活用できる制度を十分活用してまいります。

議会を傍聴してみませんか？

▶ 12月定例会は11月27日(開会)～12月24日(閉会)の予定です。
議会傍聴は、入場無料・予約不要・出入り自由です。

一般質問 12月7日(月)～10日(木)

議案質疑 12月15日(火)

常任委員会 12月16日(水)～18日(金)

自由討議 12月22日(火)



中津市役所6階に傍聴席があります！

※日程は変更になる可能性があります。
最新の議会日程は、中津市議会HPをご覧ください。

★インターネット生中継&録画配信を実施中！



本会議の映像をパソコンやスマートフォンよりインターネット上でご覧いただけます。ライブ配信(生中継)と録画配信には、見たい映像を日付や議員名等から検索できる機能をつけています。



9/10.16 今津中3年生、豊田小6年生が議会傍聴をしました

9月10日 今津中学校 3年生



9月16日 豊田小学校 6年生



今津中学校3年生の35名、豊田小学校6年生64名が、社会科学習の一環で議会傍聴に来てくれました！
参加した児童・生徒は真剣な表情で傍聴していました。

学校等の社会見学のお申込みは、
議会事務局 ☎22-0394
までお問い合わせください。

9/13 第79回大分県民スポーツ大会へ参加しました



○議員・教委リレー 第2位

大分スポーツ公園クラサスドーム大分にて開催されました。全員で全力を尽くし、見事第2位に輝きました！無事にバトンをつなぎ切り、素晴らしい結果を残すことができました。

[左から]古江信一議員、木ノ下素信議員、山影智一議員、菊池徹教育委員、大内直樹副議長、湊野真己議員、千木良孝之議員。

9/28.30 産業建設消防委員会が 中津商工会議所、中津耶馬溪観光協会と意見交換会を行いました

9月28日 中津商工会議所



「中津市のふるさと納税について」をテーマとして、寄附者の皆さんの満足度アップや、地域経済の活性化に向けて意見交換がなされました。

9月30日 中津耶馬溪観光協会



「中津市の観光」をテーマとして、観光コンテンツの魅力向上や効果的な情報発信の強化について意見交換がなされました。



◀議会だよりアンケートにご協力ください！

QRコードからご意見をお寄せいただき、より充実した紙面作りに繋がります。ぜひ、ご協力の程よろしくお願いいたします。

<https://logoform.jp/form/GEJZ/1705177>



◀ここから
チェック

中津市議会キッズページ

なかつ市
ギカイ探検隊

※一部画像の作成に生成AIを活用しています。